

令和元年度第7回月形町地域拠点施設整備等審議会 会議録

開催日時 令和2年1月20日（月）午後4時30分～午後6時10分
開催場所 月形町役場大会議室
出席委員 出席委員19名 欠席委員1名（別紙出席者名簿のとおり）
傍聴者 別紙傍聴者名簿のとおり
事務局 企画振興課
五十嵐課長、藤原参事、竹内課長補佐

- 1 開会
- 2 会長挨拶

●会長

この審議会も第7回目ということで、この間、研修2回、グループ討議が拠点施設整備で1回、皆楽公園等周辺施設に係るグループ討議が終り、今日はまとめの審議に入る。今年度中に答申書を提出する。今回のまとめの審議を経て、もう一度審議会を開催し、答申書（案）を協議する。それぞれの立場での意見があると思うが協力を願う。

- 3 議事

（1）皆楽公園等周辺施設の整備について

●事務局（竹内課長補佐）より、議案P1～4により説明。

●会長

皆楽公園等周辺施設の整備について、グループ討議を経て、事務局でまとめた。現状と課題については、皆さん意見は一致していると思うが、皆楽公園等周辺施設の目指す姿について意見を頂きたい。香西委員いかがか。

●香西委員

皆楽公園の施設改修などの話の中で、自分としては、即効性があるのは家族連れにきてもらう。キッズパークゾーンが充実すれば、子供や一緒に来た保護者等が温泉を利用する。そうすれば、つち工房も利用率が上がり、『くるるの杜』に似たような農業体験が出来る施設に変わっていくのではないかと。ターゲットを子供連れの家族に絞る方が、町としても人が来て観光の町につながっていくのでは。後は温泉の充実も大事だが、キャンプなどを先に重点的に整備し皆楽公園の利用者が増えれば道筋としていい循環になるのではないかと。思う。

●会長

各グループでターゲットを絞ってもらったが、家族連れをポイントとし観光につなげていくという考えた方が良く思う。ターゲットに関してはこうした考えでよいか。

●意見なし

●会長

コンセプトについては温泉、宿泊施設、キャンプの3つに分けて考える。はじめに温泉施設について意見を伺いたい。広野委員いかがか。

●広野委員

皆楽公園整備については、5年、10年というような話になるので、どれを優先するかが問題。整備に関しては温泉周辺、特にエントランス部分の整備に力を入れる必要があると思う。また、皆楽公園から町の中心部への観光客の町内回遊が最終目標だと思う。そのため、町内もそれに併せて再整備していかないと、町内回遊が実現しないと思う。人が集まるだけでなく経済を動かす必要がある。温泉への集客をメインに考えると、町外からの利用者が増えるようにする必要がある。

●会長

温泉施設関連について、梅木委員いかが。

●梅木委員

初めに、温泉施設等の指定管理者の状況について現状を聞きたい。

●五十嵐課長

先般、温泉施設、つち工房について、指定管理に関する業務説明会を行った。説明会には多くの方は来たが、今日、指定管理の応募締め切りであり、応募状況を確認する必要がある。

●梅木委員

施設の改修も必要であるが、誰が運営を行うかが重要で、自分としてもこれまでの協議の中で、抜け落ちていた感がある。今後、再整備を進めていく中で、新しい管理者とともに話を進めていくことも必要ではないかと思う。

全ての施設を改修となると、予算が厳しいので優先順位をつけることが大事。キャンプ場は利用客も多く充実しているのに、壊れていたり、使いづらい個所の改善は必要だが、メインは温泉施設の充実と、宿泊施設の経費削減の2つだと思う。

アンケート結果によると温泉は質が良く満足度も高いが、売店、休憩施設、食事の満足度が低いので、ここを解決することが必要だと思う。また宿泊施設は効率性が悪く、赤字解消が必要で、宿泊施設はビジネス客に特化する等の対策が必要だと感じている。最近、旭川で宿泊したが、そこでは受付等かなりの人員を削減していて、受付とかも全自動で行えるというくらいのことのできるのではと感じた。朝食もレストラン形式ではなく市販のお弁当を提供するというくらいのも考えてもいいのではないかと思う。

●会長

月形のキャンプ場は、知名度があり低価格で来やすい場所になっている。しいて言えばトイレ等の改善が必要だと思う。一番問題なのは、温泉施設と宿泊施設だと思うが、他に意見等はあるか。北嶋委員いかがか。

●北嶋委員

今後は人口減少により担い手が少なくなるので、ステークホルダーというか、いろんな方にかかわっていただく。例えば、地域住民の方にはセールスマンとして情報発信をしていただくとか、それぞれの方々が目的に従ってこういうことをやってほしいということを示していかないと難しいと思う。キャンプ場の評価も高く、今後は実際に担う方々や役場の方で次のステップに進み具体的な判断をした方がいいのではないかと思う。

●会長

コンセプトに関しては十分な内容であるが、整備の優先順位になると金銭的な話もあり、審議会として明確にはできないと思う。温泉、宿泊施設、キャンプ場における、現段階の整備コンセプトとしてはこのようなまとめとしたい。

各施設の整備については、温泉の施設内部や宿泊施設、水辺の家のリニューアルなどグループ討議の中で話があったと思うが、そのほかに意見はないか。鳥潟委員いかがか。

●鳥潟委員

資料の内容で問題ないと思うが、整備の優先順位は今後、考えていく必要があると思う。

●会長

他に意見等がなければ、整備については、無料休憩所、売店、宿泊施設のリニューアルなど、特に宿泊施設のリニューアルは金銭的な話もあるので、指定管理者の関係もあり、現段階ではこのような内容で答申に盛り込んでいきたいと思う。

細かい内容だが、キッズパークゾーンを作るなど、家族連れをターゲットにした方がいいと思うが、他に意見等はないか。

他に意見がないようなので、この内容で進めていきたいと思う。

●意見なし

●会長

周辺施設の管理運営体制と経営の改善について、公設民営が望ましいという文言で整理していきたいがこれでよい。

●梅木委員

宿泊施設の赤字運営は早急に対応すべきだと思う。一般企業でいうと振興公社は既

に潰れていてもおかしくない状態。その点を答申書に盛り込むのがいいのかわからないが、かなり急いで対応しないと、町の負担も多く財政的にも苦しいと思う。後回しにしないで何か対策をしないと危険である。

●会長

答申書には、「経営改善を目指させていただきたい」という程度の表現しかできないのではと思う。最終的には行政と議会で決定し進めていくと思うが、そういった内容を検討して多少の文言を入れていきたいと思う。

●会長

皆楽公園等周辺施設の整備はこの内容でまとめていきたいが、他に意見はないか。続いて、道の駅の整備について、事務局より説明願う。

(2) 道の駅の整備について

事務局（竹内課長補佐）より、議案P5～6により説明

●会長

道の駅の整備については判断が難しい。月形町は以前から道の駅の話があったが、踏み切れないで終わってしまっている。個人的には段階を踏んで、拠点施設であるバスターミナルや温泉施設の整備など、段階的に考えていけばいいのではないか。275号の交通量を生かしたいという考えもあったかと思うが、山田委員、意見を伺いたい。

●山田委員

道の駅については、いろんなサービスだとか、月形を発信するという事で、昔から話題になっており、未来を考える会等の会議においても話題になった。やりたい気持ちはあるが、誰がやるのかという話で行き詰まってしまう。予算の問題や今後の人口減少の問題とか考えると、ここまで実行するのは難しい。皆楽公園の整備も色々な課題もあり、もう少し経過を見ながら決めていきたい。ハコモノに関しては今すぐに手を出すべきではないと考える。

●会長

道の駅については、今回の審議会の中で、答申書では少し慎重な意見になると思うが、他に意見はないか。

●中村委員

道の駅の必要性の中で、『差別化、特色あるもの』の話が出ているが、差別化を図るのが難しいと思う。月形町の特産品は農産物とも言われるが、少し先細りの感じで、高齢化が進み、ふるさと納税の返礼品としてトマトジュースを打ち出しているが、果菜、スイカ、メロンにしても、若干先細りを感じる。和牛を地域の特産品として出し

でも絶対の量的に厳しいものがある。その中で差別化、特色ある施設として道の駅を整備しても特産品がなければ、この地域で道の駅として売り出していくのは、現時点では厳しいと思う。

●会長

農業者、農協の組合員も減り、農産物の生産量も減っているのに、6次化も含め農産物をどう充実させていくかというのは現実的に厳しい状況である。道の駅の整備に関して、審議会の答申書にはこのような内容で記載したいと思う。

次に、拠点施設について。前回会議でコンセプトや場所などについては一度、整理したが機能や小学校敷地の利用に係る安全性の確保などについて意見があり、その点を踏まえ整理したので、内容について事務局より説明を願う。

(3) 地域拠点施設の整備について

●事務局（竹内課長補佐）より、議案P7～9により説明

前回会議以降の意見等を踏まえた加筆・修正については以下のとおり。

・拠点施設の建設地について（P7）

施設整備にあたっては、教育関係機関、保護者、地域住民等に対し十分な説明と理解を得ることとし、拠点施設と小学校との管理区分の明確化や安全性の確保に努めることとする。

また、学校教育環境の整備（小中一貫校など）や道の駅の整備も踏まえ、多方面から検討し判断する必要がある。

・拠点施設の機能について（P7）

なお、建設スペースや建設費、維持管理費などの財政負担も考慮しなければならないことから、設計段階において必要な機能を十分に精査する必要がある。

・拠点施設の機能について[その他]（P8～9）

・拠点施設における商業施設の一体的整備については、町が決定する拠点施設の整備方針に基づき、町と関係機関が別途協議することが望ましい。（P8）

・地域拠点施設が地域の交流や経済活動、コミュニティ活動の核となるには、地域住民をはじめ、JA、商工会等が主体的に行動し、官民一体の拠点化づくりと、まちづくり体制の構築が重要である。（P9）

●会長

前回の会議で拠点施設の整備について、建設地に係る意見もあったので、再度、審議会として整理した。矢原委員いかがか。

●矢原委員

前回の要望が反映されているので特に問題点はない。

●会長

刈田委員いかがか。

●刈田委員

審議会での意見が、新聞で報道され、町の決定のように感じている人もいる。審議会ではこのようにまとめて町に提案していくということを、一度、保護者の方に説明した方がいいのではないかと思います。

●会長

岸上委員いかがか。

●岸上委員

場所については、小学校敷地ということで皆さん承知されて、子供や先生方に負担をかけることになるけれども、資料記載のとおり可能な限り子供たちや先生方に負担にならないように配慮し、進めていただければいいと思う。

●会長

梅木委員いかがか。

●梅木委員

全体的な話になりますが、答申にも盛り込んでもらいたいことがある。

他の会議でも意見させていただいているが、各事業を計画して進めていくにあたって、町としての実行部隊が必要と思っている。今の企画振興課がすべてを担うというシステムだと、かなりの負担がかかってしまう。専用のプロジェクトチームを作り、行動できる組織作りを進めてほしい。先ほどの道の駅については、作るのか、作らないのかをはっきりさせて、施設を作ると決めたのなら、施設建設に向け行動する部隊をしっかりと作らないと、また「なあなあ」の話になってしまう。組織として動ける体制を作ってほしい。

●事務局（五十嵐課長

梅木委員からは他の会議でも意見いただき、町長にぜひその部分を伝えてほしいという意見をいただいた。その点については町長へ伝えているが、本年度、機構改革を行ったばかりであり、また新しく組織を確立するのは難しい。

商工関係では、皆楽公園、振興公社の部分は改善をしなければいけない。企画関係では拠点化の話があるので連携はしなければいけないが、今後は区分化を課の中でしていきたい。プロジェクトチームに関しては、行政内部でも多様な意見があるので、その件もはっきりした時にはそうしなければいけないと思う。

町のランドデザインを明確にするべきではと、今回の審議会でも意見をいただいているが、審議事項が限定的なこともあり、町全体の議論が行えていない状況になった。こういったワークショップ的要素の審議会は今までなかったことであり、今後も、こういった形式の審議の場を設けて続けていきたいと思うのでご支援いただきたい。

●会長

拠点整備について、他に意見はないか。

●本多委員

拠点施設について、公設民営で進めていくというような議論をしてきた。そういった中で、本格的な商業施設が整備するのは難しいという意見もあった。今後、新たに商業関係の要望であったり、施設が必要となった時、行政がその点を判断するのか？新しく商業施設作る場合は、審議会で話し合ってきた拠点施設のコンセプトが守られた中で整備してもらいたい。

●会長

今の意見に対し、他に意見はないか。

●生川委員

公設民営には賛成である。できれば町民の方にスタートアップ、起業をしてもらうものを含めて幅広い視野で町も考えてもらいたい。難しいのであれば地域商社の設立とか、東京資本の大手企業においては地域貢献という考えの中で、色々な支援を受けられる可能性があるので広く考えてほしい。

●会長

高島委員いかがか。

●高島委員

誰がどう対応するのが大事なので、住民の方々に説明をするときに力を添えてもらい住民が動ける体制が出来ればいいと思う。拠点化では、行政区代表という立場からすると、住民の治安、交通状況が変わってくるので、地域が明るくなって、道路の見通しが良くなったりなど、町の暮らしが良くなり、現在住んでいる方々への配慮もあれば嬉しい。

●会長

谷口委員いかがか。

●谷口委員

これまでの議論の中で、最初に業者が作成した図面を見せてもらい整備案を説明されたが、それを鵜呑みにせず数年かけて地域の多くの人を巻き込み、どこにどのような空間を作るのかという体制を作らなければいけない。これからが非常に重要で、地域の人をどう巻き込んでいくのが大事だと思う。

拠点施設は学校敷地での整備も問題ないと思うが、子供や保護者の意見を積極的に取り入れた方がいいと思う。

皆楽公園のキッズパークゾーンや遊具も、遊び空間は使用する子供達にデザインを

してもら。そのためにも、教育委員会や学校と一緒に計画作りが必要だと思う。また、今後どうやって整備をしていくかというプロセスというか過程が大事になってくると思うので、その辺りのコーディネートが今後の進め方として必要と思う。

道の駅に関しては、作るのか作らないのかをはっきり決めないと、また空想で終わってしまう可能性がある。私のグループでは、道の駅を起爆剤として町を盛り上げていくことを考えた。商業施設や、民間企業、町外も含めて、周りを巻き込み、こういう場で話を聞いて、町が良くなる方向に進むやり方をしていかないと今までのまちづくりと変わらないと思う。いろいろな人を巻き込んで、たくさんの知恵を入れていく。良い町を作るためには、子供や年配の方も含めて様々なワークショップをしていかないと上手くいかないと思う。

その中で一番大事なのは、合意形成で、皆さんのお話を聞いて、意見が合わないこともあるが、まとめるのは外部の人間や行政ではなく、町民の中でコーディネートできる人を中心に意見をまとめていかないと行政が作ったまちづくりになってしまうと思う。町民中心にやっていかなければならない。

●会長

拠点施設も含めて、全体的な話で他に意見はない。熊倉委員いかがか。

●熊倉委員

道の駅は難しい点が多いが、作るからにはたくさんの人に来てほしいと思う。審議会の短期間での話し合いだけでは決めるのは難しいし、梅木委員の意見のとおり作るのか作らないのか決めないと、これまでの議論の意味が無くなるのでは。

●会長

香西委員いかがでしょうか。

●香西委員

道の駅はネガティブな意見が多いが、商業者の立場では道の駅はあった方がいいと思う。地域の起爆剤となるのが道の駅と考える。

地域拠点施設でバスターミナルができて、それで終わりではなく道の駅ができて、商業者がこれからの後継者に商売を託せるように、道の駅が中心となる商業施設になってほしいと思う。もう少しポジティブな考えをしてもいいのではないかなと思う。

町は単に人が住んでいれば町ではなく、そこで商売をする人たちや例えば福祉施設とかがあって色々な人がいて町だと思う。

公共施設が赤字になったから駄目という目線だけではなく、赤字になっても地域住民が集まれる温泉や観光として訪れる場所があるのも重要であって、様々な視点で見えていくことが必要だと思う。

商工会の青年部副部長として参加しているが、若者の考えとしては、道の駅を起爆剤として月形町が観光客を取り込んでという、ポジティブな考えを持っている。他の

町にもある道の駅が月形町にないのは残念だし、商売人としてはチャンス을 いただきたいという思いはある。

●谷口委員

前向きに考えた方がいいと思う。「あれがない、これがない」だと考えが沈む一方なので、「これがなければ、こういうものがある」ということをみんなで考えていったほうが、もっと町もよくなるし、人も住みよくなり生き生きしてくる。いろいろな可能性をみんなで多く話し合っ、無くなっていくものばかり話し合っているとネガティブになる。町づくりに夢をもって、取り組んでいかないと、必ずしも良くなるとは限らない。

やってみないとわからないが、せつかくこういう整備事業が始まったところで、みんなでいい意見を出し合っ、作っ、いかないと損だと思っ。いろんな意見を集めて、多くの人との関係性をつないでいきながらやると楽しくなり、子供から年配の人まで一緒にやっ、いくのがベストなまちづくりだと思っ。

●会長

拠点施設の整備や皆楽公園の整備の議論をしていく中で、道の駅が絡んでくる。視察でも道の駅を見てきたが、具体的に審議会として道の駅整備について言及していいものなのか迷うところがある。広野委員いかがか。

●広野委員

道の駅は、駐車場、休憩、24時間トイレ、情報発信がある。その中で商売ができる場所があれば商業事業者としてはベターである。道の駅の基本機能がなくても、商売ができればいい、人が集まればいいということもある。

近隣の道の駅では農産物販売とか重複している。365日そこで商売するのか、土日だけなのか、春から秋までなのか、冬季閉鎖なのか、様々な方法がある。あえて道の駅でなくてもいいという考えもある。

例えば、拠点施設のスペースを使っ、そこから始めていく。しかしそれなりのスペースが必要になる。

温泉は施設としては有効であると思っ。月形の温泉は値段の割にはいい施設であるが休憩施設や売店が弱い。

周辺の温泉は類似しており、人が集まる施設は店舗の部分が充実している。今後、道の駅を整備するのであれば、自分なりにいろいろ考えている。失敗事例もたくさんあるので、お金を掛ければいいというのではなく、やり方が大事。施設を作っ、そのスペースが欲しいというのではなく、何をどうやっ、売っ、いくが重要である。

道の駅は商業施設であるため、拠点施設にそれなりのスペースができるのであれば期待する部分はある。

●会長

道の駅は色々な意見がある。話を戻すが、拠点施設の機能のその他事項に『拠点施

設に道の駅を整備する計画（想定）となった場合、バスターミナルとしては必要最小限の規模、機能とする。また、トイレ等の共有できる設備は道の駅を想定した規模で計画し、その他施設を段階的に整備する。』という文言を入れて審議会としてまとめたい。

全体を通して意見はないか。

その他で事務局から説明がある。

●事務局（竹内課長補佐）

本日までの会議を踏まえて、答申案を作成する。次回の審議会で答申案を示して最終確認する。これまでの審議経過、審議状況について、審議会として住民説明会を2月4日に開催を予定している。説明者としては、会長、副会長、各グループ会議のリーダーの3名、事務局で対応したいと考える。日時は、2月4日、18時から役場大会議室で開催。当初委員全員を説明サイドと考えていたが、各委員におかれましては、説明会の開催については案内をしますが、一般参加者側で参加いただきたい。

●会長

審議会主催の住民説明会を開催する。住民からどんな意見が出てくるがわからないが、その説明会を踏まえ、最後の審議会で答申案の修正をするかどうか検討していく必要があるので協力願う。

住民説明会では、どんな状況になるか想像がつかないが、年配の方からは場所やバスターミナルがいつできるのかなど聞かれることが多い。審議会で慎重に審議してきたと伝える場であるので、周りにもお知らせいただきたい。

以上で、本日の会議を終了する。

月形町地域拠点施設整備等審議会委員 会議出欠名簿（1 / 20）

会議 第7回審議会

日時 令和2年1月20日（金）開催

場所 月形町役場大会議室

委員区分	所 属 等	氏 名	審議会
条例第3条第2項の1号委員 ※町の区域内の公共的団体及び関係機関の会員又は職員	月形商工会青年部 副部長	香西 雅之	○
	月形商工会女性部 副部長	土井 町子	○
	月形町農業協同組合 専務理事	福井 誠	○
	月形町農業協同組合女性部 部長	中村 三賀子	○
	月形町社会福祉協議会 事務局主任	齋藤 貴子	○
	月形町老人クラブ連合会 会長	西山 雅俊	○
	月形観光協会 会長	廣野 和男	○
	月形町校長会 会長	矢原 雄平	○
	月形町PTA連合会	刈田 廣美	○
	月形町赤十字奉仕団 委員長	松山 俊子	×
	NPO 法人 コミュニティワーク 研究実践センター 事務員	熊倉 なみ	○
	市北行政区 理事	高島 康典	○
	月形刑務所 看守部長	本多 大輔	○
社会福祉法人 札幌会つきがた友朋の丘	鳥潟 慎太郎	○	
条例第3条第2項の2号委員 ※識見を有する者	月形町教育委員会	岸上 希央	○
	北海道科学大学 工学部 建築学科 教授	谷口 尚弘	○
	(公財) 北海道観光振興機構 地域支援本部 地域観光部長	生川 幸伸	○
	(株) 道銀地域総合研究所 地域戦略研究部 業務部長	北嶋 雅見	○
条例第3条第2項の3号委員 ※公募による者	農業	山田 啓一	○
	会社員	梅木 悠太	○